

2021年度（公財）JKA補助事業の成果及び自己評価結果の公表

補助事業名 2021年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 地方独立行政法人北海道立総合研究機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

北海道立総合研究機構工業試験場における試験機器の整備を推進し、試験研究機能や技術支援機能の強化を図ることにより、道内中小企業等の技術力向上を支援し、機械工業の振興、新産業の創出に貢献します。

(2) 実施内容

引張試験や耐荷重試験などにより、金属材料や金属製機械部品などの機械的特性を評価する「万能材料試験機」を導入しました。

2 予想される事業実施効果

① 万能材料試験機

本機器の導入により、高強度材や多様な形状・寸法の試験体等に対し、これまでよりも幅広い対応が可能となるため、製品の品質や信頼性・安全性の向上、新製品開発が促進され、道内製造業の振興に大きく貢献すると予想されます。

3 本事業により導入した設備

① 万能材料試験機

(<http://www.hro.or.jp/list/industrial/research/iri/gijyutu/setsubi/facility/21/bannouk.pdf>)

金属材料や金属製機械部品などの強度・変形能といった機械的性質を評価する装置です。JIS Z 2241（金属材料引張試験方法）に対応した試験が可能です。



万能材料試験機

設置場所：【地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場】

②本事業に係る印刷物等

北工試だより ～道総研工業試験場メールマガジン～

-----◆ R4/2/9 Vol.21.13 No.176 ◆-----
■□■ 北工試だより ～道総研工業試験場メールマガジン～ ■□■

カーリングのTV観戦は面白い！北京冬季五輪が開幕しました。私の一番の楽しみはカーリング女子のロコ・ソラーレ。LSは日本代表決定戦での死闘、五輪最終予選での激闘を経ての出場、メダルへの期待が膨らみます。この競技は正確なショットと激しいスweepを裏付ける体力、戦術・戦略などの知力、そして氷の状態など時の運が勝利の鍵、本番で運も味方に実力を十二分に発揮してくれることでしょう。技術と駆け引き、そしてLSらしさにも注目して応援したいと思います。

☆☆☆☆☆☆ 目次 ☆☆☆☆☆

【1】『JKA補助事業による新規導入機器』のご紹介！
【2】『3Dプリンター最新情報セミナー』のご案内！【締切2/10】
【3】『ゼロから始めるUnity入門～XRコンテンツ開発基礎実習～』のご案内！
【4】 新人紹介！～材料技術部 小川研究員～

【1】『JKA補助事業による新規導入機器』のご紹介！

競輪の補助を受け、次の機器が導入されましたのでご紹介いたします。皆様のご利用をお待ちしています。

◆事業名：公益財団法人JKA 2021年度 機械振興補助事業

▼万能材料試験機 ((株)東京衝機試験機 YU-500S5)
機能・特徴
・JIS Z 2241(金属材料引張試験方法)に対応
・多様な試験方法による金属材料や金属製機械部品等の機械的特性評価が可能
主な仕様：最大容量：500kN
つかみ部幅：80mm
定速ストローク制御：最大80mm/min

▼JKA補助事業設備紹介
<http://www.hro.or.jp/list/industrial/research/iri/JKA/index.html>

【2】『3Dプリンター最新情報セミナー』のご案内！【締切2/10】

アルテック株式会社では、3Dプリンターの様々な方式や基礎的なことから、様々な業界での活用事例をご紹介するWEBセミナーを開催いたします。

2022/2/9配信

4 補助事業の自己評価

①万能材料試験機

本事業により機器を更新したことで、より高強度な材料や多様な形状・寸法の試験体に対応する強度試験が可能となりました。また、周辺機器の機能が向上し、試験結果のデジタルデータ取得とコンピュータ解析が可能となりました。青銅鋳物メーカーが品質管理のための強度データ蓄積を開始しているほか、屋外構築物用ワイヤロープメーカーや建築型枠用金具メーカー等、幅広い金属製品メーカーから相談が寄せられ、設備使用や依頼試験で活用されています。以上により、北海道内の金属関連ものづくり産業（金属加工業、金属製品製造業、産業用機械製造業、自動車関連産業など）の製品開発や品質・信頼性向上を支援する体制の充実を図ることができました。

【総合評価点】 4 全体として比較的高いレベルの事業であった。

(参考) 2021年度JK A補助事業「自己評価スコアリングガイド」

総合評価	5	全体として極めて高いレベルの事業であった。
	4	全体として比較的高いレベルの事業であった。
	3	一部に不十分な水準の内容があり、今後の課題となるが、全体としてはほぼ問題のないレベルの事業であった。
	2	全体として不十分なレベルの事業であり、いくつもの課題が残った。
	1	全体として極めて不十分なレベルの事業であり、根本的な見直しが必要である。